

**アトピー性皮膚炎に対するレブリキズマブ 4 週以降 4 週間隔投与時の有効性の検討：
実臨床における後ろ向き観察研究
に関する研究のお知らせ**

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025 年 10 月 7 日 ～ 2027 年 12 月 31 日

〔研究課題〕

アトピー性皮膚炎に対するレブリキズマブ 4 週以降 4 週間隔投与時の有効性の検討：実臨床における後ろ向き観察研究

〔研究目的〕

当院でアトピー性皮膚炎に対してレブリキズマブ(イブグリース®)を使用し、4 週目以降に 4 週間隔で投与した際の有効性について検討します。

〔研究意義〕

この研究によって、レブリキズマブを 4 週目以降に 4 週間ごとの投与へ切り替えたときの有効性や、効果が見込める患者さんの特徴が分かることを目指しています。本研究の成果は、個人が特定されない形にしたうえで学会や論文として発表し、レブリキズマブに関する知見の蓄積につなげます。こうして得られた情報は、他の医師や患者さんにとっても参考となり、将来的に患者さんにとってより適切な治療が行えるようになることが期待されます。

〔対象・研究方法〕

2024 年 5 月 31 日から 2025 年 8 月 31 日までに帝京大学医学部附属病院において、レブリキズマブを 4 週以降 4 週間隔にて投与されたことが確認できた方を対象とします。レブリキズマブ投与前の患者背景、重症度、アンケート結果、検査値などの情報を、後ろ向きにカルテから収集します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 皮膚科

〔個人情報の取り扱い〕

この研究で集められた情報(患者さんの氏名・病気の状態・検査データなど)は、研究責任者が厳重に管理します。情報はパスワードで保護された電子媒体に保存し、鍵のかかる場所で保管します。学会や論文などで研究成果を発表する際には、患者さんが特定されないように番号を付けて管理し、氏名などの個人情報は一切公表されません。研究が終了した後は、情報を匿名化(個人が特定できない形に加工すること)したうえで、臨床研究センターに提出し、10 年間保管した後に廃棄します。紙の資料はシュレッダーで処分し、電子データは完全に削除します。この研究は、日本イーライリリー株式会社からの資金提供を受けて実施されます。研究に参加する患者さんに不利益が生じないよう、研究に関わる利益や関係(利益相反といいます)は、帝京大学板橋キャンパスの「利益相反管理委員会」によって適切に確認・管理されています。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学医学部附属病院 皮膚科 教授 鎌田昌洋

研究分担者: 帝京大学医学部附属病院 皮膚科 主任教授 多田弥生

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表)